



高輪だより

令和元年度12月号
港区立高輪幼稚園
園長 柿沼 敦子

「楽しむことが成長の源」

高輪幼稚園長 柿沼 敦子

11月中旬、登園時間に見上げる園庭の木々の紅葉と青い空とのコントラストの美しさに感動する日が続きました。朝晩は気温が下がり布団から出る時間が遅れがちになる季節でもあります。しかし、時間を守って登園してくる子どもたちが多く、朝の生活のリズムも1学期に比べて整ってきたのでしょう。お家の方の意識も高くご協力いただいている成果です。ありがとうございます。そして子どもたちも園生活を楽しみにして、わくわくした気持ちで登園するようになっているようです。年少児は、思い思いのスタイルであいさつをして靴箱に向かいますが、後ろ姿に弾む心を感じます。年中児は、元気な声であいさつする子が増え、体も弾んでいて、あっという間に朝の支度を終わらせて、あっという間に遊び始めるようになりました。年長組は、あいさつの言葉やお辞儀の仕方に成長を感じます。就学を控えて一人ひとりの意識が高くなりました。一日の始まりとして各学年とも大変良い姿です。

寒くなってきましたが、寒さに負けず園庭やランラン（高輪台小学校での遊び）での外遊びも今まで通り充実させていきたいと思っています。外で遊んでいる時間の長い子どもの運動能力は高いそうです。しかもそれは与えられた活動や訓練的な活動ではなく、自発的に、主体的に自分のやりたい遊びを楽しんでいる子の能力が高いそうです。今、鬼ごっこや縄跳び、ドッジボールなどを楽しむ姿が見られます。運動的な遊びだけではなく園庭でのごっこ遊びの中でも体を動かす要素（歩く、走る、上る、くぐる、立つ、這う、持つ、押す、積む、引く、倒す、乗るなど）があり、バリエーションも様々です。幼児期に外遊びを楽しむ経験は、生きていく力の原動力になります。体を動かすことで「明るく（心）元気（体）」な子になります。歩くことで体幹がしっかりし、筋力、持久力がアップします。寒くなってきたからこそ歩けます。登降園時もしっかり歩くことを忘れないでください。

年長組の保育室のホワイトボードでこんな言葉を見つけました。『「音楽」とは「音を楽しむ」こと』担任の心もちを感じる言葉です。子どもたちは今、遊びの中で新しい楽器に触れながら音色やリズムを体で感じ楽しんでいます。年中児も年少児も各学年の発達に合わせた内容で楽しんでいます。楽しんだことを12月の高輪コンサートで皆様にご披露いたします。子どもたちと一緒に保護者の皆様も教職員も音を楽しむ日にいたしましょう。ご協力をお願いいたします。

年長すみれ組

あいさつ運動。お手本のあいさつで迎えます。



年中うめ・もも組

ごっこ遊びの構成もダイナミックになってきています。



年少うさぎ組

先生おおかみにつかまらないように逃げなくちゃ。

